

2026.5.30 (Sat.)

13:00-16:40  
(12:30 開場)

ENEOSホール

〒153-8904 東京都目黒区駒場4丁目6番1号  
(駒場IIキャンパス 先端科学技術研究センター3号館南棟1階)

※ 駒場キャンパスには「I」と「II」がございますが、本会場は駒場IIキャンパス内でございます。  
お間違いないようご注意ください。

ACCESS

小田急線／東京メトロ千代田線「代々木上原駅」より徒歩12分  
小田急線「東北沢駅」より徒歩8分  
京王井の頭線「駒場東大前駅」西口より徒歩10分  
京王井の頭線「池ノ上駅」より徒歩10分

参加無料・お申し込み制



お申し込みはこちらから (Peatix)  
<https://fdl-rcast-20260530.peatix.com>

Introduction 13:00-13:10

「なぜ今、工芸を問い直すのか」

登壇者 Hideki Yoshimoto  
吉本英樹  
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授

Session 01 13:10-14:20

「文脈と内在のあいだに立ち上がる応答」

登壇者 Yuji Akimoto 秋元雄史  
美術評論家 / キュレーター  
Naoto Fukasawa 深澤直人  
プロダクトデザイナー  
Danielle Demetriou  
ダニエル・デメトリオウ  
ジャーナリスト

Session 02 14:30-15:10

「継承と変容のダイナミズム」

登壇者 Genbei Yamaguchi 山口源兵衛  
菅田屋源兵衛十代目当主  
Hideki Yoshimoto 吉本英樹  
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授

Session 03 15:20-16:30

「同時代への多様な応答」

登壇者 David Caon デヴィッド・ケオン  
インダストリアルデザイナー  
Bethan Laura Wood ベサン・ローラ・ウッド  
デザイナー  
Eugene Kangawa (EUGENE STUDIO) 寒川裕人 (ユージーン・スタジオ)  
美術家  
Maria Cristina Didero マリア・クリスティーナ・ディデロ  
デザインキュレーター  
Lanzavecchia + Wai ランザヴェッキア+ワイ  
デザイナー  
Philippe Malouin フィリップ・マルアン  
デザイナー  
Atang Tshikare アタン・ツィカレ  
デザイナー / アーティスト

Concluding Dialogue 16:30-16:40

「応答の先にあるもの」

登壇者 Hideki Yoshimoto 吉本英樹  
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授  
Maria Cristina Didero マリア・クリスティーナ・ディデロ  
デザインキュレーター

グローバルな文脈から問い直す  
応答としての工芸

国際シンポジウム

CRAFT AS RESPONSE  
Reframing Craft in a Global Context

本シンポジウムは、日本の工芸をグローバルな文脈のなかで、「応答」という視点から見つめ直します。  
ここでいう応答とは、技術の継承にとどまるものではありません。  
風土や社会、環境や技術といった外的条件と向き合いながら、何を受け入れ、何を守るのかを選び取り続けてきた人の営みを指します。  
工芸は、これまでも時代に応答しながら受け継がれてきました。  
社会の前提が大きく揺らぐ現代において、工芸は保存される対象ではなく、同時代に応答する「思考と実践」として捉え直すことができるのではないのでしょうか。  
日本と世界を往還する多様な実践者たちの取り組みを通して、工芸を「動的な知性」として位置づけ、未来へと開かれた応答のかたちを考えます。

※ 本シンポジウムは同時通訳にて実施いたします。  
※ プログラムの内容および出演者は、予告なく変更となる場合がございます。

主催：東京大学先端科学技術研究センター先端アートデザイン分野  
お問い合わせ：info@aad.rcast.u-tokyo.ac.jp



